

議会だより

12

2021
December

No98



題字 | 大山崎中学校美術部の作品です

特集

令和2年度決算認定

—まちづくりの評価—



ハート型の

私たちの愛する大山崎町

決算認定

決算概要はこちら

 広報おおよまざき
 11月号

議会が行う評価

町民の皆さんの税金が適正に使われているか。その効果・成果がどのようにまちづくりに生かされているか。

- 議会は、1年ごとの結果だけではなく、
1. 行政の事業執行のチェック
 2. 次年度予算への課題提起
- これらの視点で、先々のまちづくりを見据えて決算の評価を行っています。

決算の総額

年度当初は、約60億円の予算総額でスタートしましたが、新型コロナウイルス感染症への対応として、国から、地方創生臨時交付金や各種補助金があったことで、約80億円の決算総額となったことが大きな特徴です。

まちの強みを生かして

町はこれらの交付金等を活用し、上下水道基本料金の免除をはじめ、様々な事業を行いました。国施策である特別給付金給付事業では、住民への素早い給付が実施でき、小さなまちの強みが示されました。

コロナ禍の影響

決算審議においては、各議員から、コロナ禍が、町民のくらしにどのような影響を与えているのかを見極めようとする質疑が行われました。法人町民税が昨年度比35%減少していることや、町民税、固定資産税の徴収猶予や国保税の減免等の利用件数が少なからずあることが明らかとなりました。

緊張感をもって

よりきめ細やかな生活支援策等の検討や、町財政への影響を慎重に見極めることを求める質疑など、引き続き、コロナ禍での緊張感をもった町政運営を求める審議がされました。

朝子直美 予算決算
 常任委員長



予算決算常任委員会

- 議長と議会選出の町監査委員を除く10人の議員が委員です。
- 町の予算と決算に関する審査を行います。
- 9月の定例会では、6日間にわたり、16議案の審査を行いました。

決算認定 議会は3つのテーマを柱に評価

各議員が「○」「×」で事業を評価し、その評価の理由を述べています。

1 新型コロナウイルス感染症対策

3つの事業に注目

令和2年度決算は、新型コロナウイルス感染症対策が大きな特徴となりました。大山崎町では、議会から提案した施策を含め、町民の皆さんの日常生活への支援を行ってきました。

1 上下水道基本料金免除

- コロナ禍の影響を受ける中、生活支援における町独自の対策を議員から発信し、早期に実現し継続できた。
- 議員が提出した公平・公正の観点からの提言をほぼ受け入れた。
- 感染防止、外出自粛で使用量が増える水道の料金軽減は、住民に大変喜ばれている。
- コロナ禍での町独自の支援策として実施された案件で、不公平感が無く均等配分されたため、大変喜ばれた。
- コロナ禍で暮らしが大変な時期に4回の基本料金免除は住民の家計支援に有効だった。
- コロナ禍に苦しむ住民の皆さん、事業者の皆さんに広く均等にその補助策が行き届く施策として評価。

2 特別定額給付金支給

一律10万円・
 新生児にも

- 町民の声を聞き、新生児も対象とされた。コロナで生活困窮となった方への町独自の施策を。
- 国の事業として評価するが、将来負担を自治体としてしっかり備える必要がある。

3 一人1台端末

小中学校の
 児童・生徒に

- 子どもたちが具体的に端末を使うチャンスになった。
- 一人一台端末が早く実現したことでコロナ禍での活用が進んだ。誰も取り残さない今後の取組が求められる。



本町の児童・生徒に
 配付された端末

2 子育て

4つの事業に注目

「安心して 子どもを生み育てられるまち」づくりは、多様なニーズの変化とともに、いつの時代においても求められています。

1 町立保育所運営と民間保育所運営

- ☐ 西山天王山駅の効果により若い家族の急増で活気が溢れ、待機児童を出さない施策となった。
- ☐ 民間保育所運営に掛かる国と府からのしっかりした支援があり、町政はこの支援を活用できて良かった。
- ☐ 町立保育所の町負担金は3園で約4億5千万円。民間保育所では約6千万円。民間保育所開設は、適切だった。
- ☐ 公立園と同様の保育環境を作る為、民間園に看護師、保育士加配などの費用を独自補助した。
- ☒ 町からの税金投入が民間園が約6千万円、公立が約4億5千万円。今後の大きな課題である。

各議員が「○」「×」で事業を評価し、その評価の理由を述べています。

2 保育所事故検証・再発防止

- ☐ 検証委員会の意見を真摯に受け止め、改善を図っている。天王山散歩再開を望む保護者への対応が求められる。
- ☒ 国が定める保育の指針すら本町には無かった。検証委員会の指摘だけでなく、1から出直しが必要。
- ☒ 他事業での同様事象の発生リスクの検証と、再発防止の徹底と、現場任せではないガバナンスの強化が必要。



3 子ども医療費助成事業

- ☐ 負担軽減され早めの受診に繋がった。他府県での受診の際の償還払いの周知や、高校生まで助成拡充の検討を。

4 第2保育所防水改修事業

- ☐ 第2保育所の屋上防水と外壁塗装がされたことで、どの保育園もよりよい環境が前進した。

2 JR山崎駅バリアフリー化事業

- ☐ 20年越しの事業がやっと完成したが、時間がかかりすぎた。
- ☐ 障がいのある人が障がいを持たない人と同じように社会参加するには必要な事業（ノーマライゼーション）。
- ☐ 山崎駅周辺の固有の景観を保持しながら、バリアフリーが達成され、バランスの取れた事業が完了できた。



本町が購入したドローン

3 ドローン整備事業

- ☐ 災害時の状況を把握し、復旧を早められる。防災、減災の為に有効に活用出来るよう検討してもらいたい。

4 史跡大山崎瓦窯跡整備事業

- ☐ 史跡大山崎瓦窯跡は平安京造営に必要な瓦を生産した遺跡で、見学し学び親しめる公園としてオープンされた。

5 ベンチ整備事業

- ☐ 歩いて町内を安心して移動できる環境整備は重要。今後の継続的展開を期待して評価。

1 中央公民館改築整備策定事業

- ☐ 長期に渡り手付かず、放置は怠慢であるが、ようやく具体的な町民主体の策定に着手となった。
- ☐ ワークショップに若い世代も参加し、積極的な議論がされた。
- ☒ 住民の声を反映することは必要だが、町の将来ビジョンと負担を踏まえた専門的な検討がみえてこない。
- ☒ 議会に対し行政が説明を果たしていない。大きな予算を必要とするのにこれでいいのか。



大山崎町立中央公民館

3 まちづくり

5つの事業に注目

いわゆるハード面では、整備が完了した事業がある一方で、新たに動き出している事業があります。

完了した事業は今後の活用と成果が期待され、未整備の施策についてはさらに十分な検討が必要です。

特集

決算から見えてきた

今後のまちづくり

毎年の決算では、その年度で完了する事業があります。予算では事業が終わっても、これから成果が表れるものも多くあります。まちづくりは終わることなく、これからの時代へと続いていきます。

応援されるまちへ

このまちにより愛着をもっていたきたいとの思いから、「ふるさと納税」の活用について、多くの意見がありました。

ふるさと納税は、個人が応援したい市町村に寄付をする仕組みです。
平成20年から制度が始まりました。
返礼品と所得税及び住民税の控除を受け、実質2,000円の自己負担額で寄付が行えます。

本町はマイナス収支

- 寄付をした人が住んでいる市町村の住民税は減額されます。
- 平成21年度：制度開始当初の本町への寄付件数は低調。
- 平成28年度：返礼品をセットにし、寄付金は大きく伸び、プラス収支へ。
- 平成30年度：返礼品の規制が厳しくなり、マイナス収支となる。
- 令和2年度：ビールの定期便需要があり、寄付額は伸びたが収支はマイナス。

令和2年度	単位：円
寄付受領額	47,526,000
事務経費	16,241,176
差引(実質収入)①	31,284,824
他市町への寄付額②	34,362,093
寄付金の実収支①-②	△3,077,269

ふるさと納税を活かして

議会では、入ってくる額と出ていった額を明確にして大山崎町への支援者を増やす努力や返礼品の工夫などに努め、全国の市町村の皆さんからも愛される町を目指していくよう提言しました。

これからも続くまちづくり

町民の皆さんと議会の関心ごと

今回の特集は令和2年度決算内容について特集しました。

委員会では他にも今後の町の水道事業や、公共施設改修や在り方について多く意見がありました。

町民さんの関心度も高いと思います。

今後特集として町民の皆様にも広聴インタビューを行い、一緒に考えるきっかけになるよう取り組んでいきたいと思っています。

次回の特集は、「大山崎町の水道事情」を予定しています。

広報常任委員が、皆さんの声を聞きに

街の中へ出ていきます。

ご協力をよろしくお願いします。



季刊議会

9月議会あらまし (令和3年第3回定例会)

8月24日から9月17日までの25日間にわたり、町長から提出された20議案を審議。

いずれの議案も全員賛成により、可決・認定されました。

議決結果



委員会での議論

上下水道基本料金を1期分免除

対象は令和3年度第3期分(7月・8月の使用分)。
新型コロナウイルス感染症対策として、昨年度に実施された上下水道基本料金の免除が再度実施されました。

議員の質疑

上下水道の使用量から、コロナ禍における家庭での特徴は読み取れるか。

町の答弁

昨年度は家庭の使用料水量が増加傾向であった。

第5波のタイミングで、感染防止のための手洗いの励行を再度呼びかけるために実施するもの。

議員の質疑・意見

- ・厨房内での動線やアレルギー対応の有無について
- ・工事期間中の教育環境への影響について
- ・追加工事が発生しないような設計で進めるべき
- ・大山崎小学校では、建設地の高低差の改善が必要

町の答弁

今後の実施設計において、議会からの意見を踏まえて最適化に努め進めていく。

委員会での議論

町立小中学校の給食施設の整備が始まります

大山崎小学校では新しい給食室整備のため、旧放課後児童クラブ施設(なかよし)の解体撤去予算が可決されました。
また、給食施設整備の基本設計が示されました。



大山崎中学校の給食施設建設予定地(駐車場部分)



第二大山崎小学校の現在の給食棟



大山崎小学校の給食施設建設予定地

一般質問



山中 一成 議長

ここが聞きたい！

11

人が

町政を問う。

9月定例会では、8月31日、9月1日～2日の3日間にわたり、11人の議員が一般質問を行いました。

新型コロナウイルス感染症にかかる4回目の緊急事態宣言の中、9月定例会を開催しました。感染症拡大防止対策として、一般質問は日程を3日間とし、出席職員を制限した中で行いました。

また、一般傍聴は別室でモニター視聴とするなど、皆様にも引き続きにご協力をいただきました。

詳しくはこちら
(会議録検索へ)



このページは、本会議の一般質問をもとに各議員が作成しています。

H24豪雨で鏡田住戸被害が派生

町：マクセル工場内に冠水が発生の報告有



は た の ひ さ ご
波多野底砂 議員

他の質問：小泉川と小畑川の河川管理の状況についてなど

Q 当時の浸水の検証結果と原因、対策を問う。

A 調査結果は、当時の降雨量が町想定を上回り、大井路水路の受け持った区域以外から流入した。落雷の影響を含めポンプ排水活動が浸水深を助長した。落雷対策の実施、ポンプ場の新棟建設完成、R171の道路側溝の改良工事を実施。小泉川以北の面積約12万坪の工業地側に雨水貯留池有。小泉川以南の工業地約15万坪側に雨水貯留池は無。

Q 町内3ヶ所の溜池について決壊はしないと保証出来るのか。

A 全国の農業用溜池の多くは古く劣化の態である。平成30年に西日本で決壊による被害が生じ、溜池に係る防災推進特別措置法が施行。劣化状況の評価を実施し対処する。町内3か所の溜池は防災重点農業用溜池で、劣化状況評価や地震・豪雨耐性評価を要する。廃止予定の溜池を除く2か所は適切に対応。



増水時の小畑川



J R 山崎駅前駐輪場

町：分散避難の新たな避難所設置予定なし

他の質問：生活環境の保全・改善について

Q 新型コロナウイルス感染症等の蔓延期に、自然災害発生による避難の在り方は従来とは違う考え方が必要である。例えば分散避難や新たに臨時避難所を設置する等の考えはないか。

A コロナ禍における分散避難は国も推奨し、当町もHPや広報誌で呼びかけている。しかし町域の狭小さや駐車場使用の適地がないため町施設を含め新たな避難場所や車中泊避難専用スペースの設置は考えていない。

Q 過去の一般質問で町管理施設であるJR駅前駐輪場の上階空きスペースを臨時的避難所とすべきであると提案したが、出来ないとの回答であった。緊急事態なら町長判断で使用できるのではないか。

通学路の安全について

町：PTA作成の危険箇所マップの活用等

他の質問：適正な土地管理、指定ゴミ袋制度の導入についてなど



つじ まり こ
辻 真理子 議員

他の質問：子育て支援の充実や避難所の拡充についてなど

Q 高齢者施設へのPCR検査補助事業の進捗について

A 対象事業者からの意向はない。しかし第5波では乙訓保健所におけるPCR検査が飽和状態となり、濃厚接触者全員のPCR検査が行えない状況となったことから、改めて一般住民の方を対象とした事業へ切り替えられないか検討を進める。

Q 抗原検査キット配布の進捗について

A 保育所や高齢者施設、役場も含めた住民生活に影響の大きい事業所を対象としつつ、一般住民の方も、希望者への配布を実施し、これまでに約450回分の検査キットを配布している。

Q 新型コロナウイルスワクチン接種の進捗について

A 集団接種、個別接種での12歳以上対象で予約された全ての方が2回目接種を終える10月末の時点では、約1万1千人、接種率は約75%になる見込み。



長引く休館。再開要望の声にも対応を



Q 昨年10月、大山崎PTA連絡協議会から「山、二山小学校区危険箇所マップ2020年」が発行された。そこに記載されている通学路危険箇所について、町の対応策について問う。

A 「子どもの移動経路／通学路等の安全推進会議」を9月中旬に開催し、改めて通学路危険箇所を抽出し、関係機関の皆様による意見交換と共に、一斉点検、対応策の検討を行うこととしている。教育委員会では改めて、「危険箇所マップ」に沿ってマップの記載箇所点検を実施するとともに、7月の一週間を「重点取組期間」と位置づけ、登下校時に合わせた町内の通学路パトロールや危険箇所での通学指導を行っている。今後も引き続き町内外の関係部署、関係機関と連携しながら、ソフト・ハードの両面で通学路等の安全対策に努めていく。

コロナ禍での避難所

町：町の避難所での食糧備蓄は、1日分

他の質問：新型コロナウイルスワクチン接種の状況など

Q 避難所の食糧備蓄は概ね1日分が確保されているが2日分備蓄出来ないか。また、災害時の感染性廃棄物処理方法のマニュアル等は作成されているか。

A 2日分の食糧備蓄を確保する場所が無い。感染性廃棄物は専門処理業者に引渡し、適切に処理している。感染性廃棄物独自のマニュアルは無いが、大山崎町災害廃棄物処理計画書に盛り込んでいる。

Q コロナ禍での避難所では密を避けるため人数制限を行う。避難所に入れない人は車中生活になり、エコノミークラス症候群になりやすい。この軽減対策として、医療用弾性ストッキングの備蓄は行っているのか。

A 本町は狭小な街であり駐車場確保が難しい。自動車での避難は推奨していない。車中泊避難は発生しないため医療用弾性ストッキングの備蓄は考えていない。



感染性廃棄物(注射器)

感染症蔓延期における行政の考え

にしだ てるひろ
西田光宏 議員





町：地域で災害への強靱性を高める

きし たか お
岸 孝雄 議員

Q 想定される大型の直下型地震への減災対策として、地域単位での消火器の設置を推進する必要性があるのではないかと。

A 地域で災害に対する強靱性を高める観点で初期消火が最も重要であり、消火器の配備は有効と考える。自主防災活動への補助制度を通じて、共助の力による安心安全のまちづくりを推進する。

Q 地域での古紙回収を促進し、回収した売却益に応じた支援金を交付して、廃棄物を減量しつつ地域の活性化を図ってはどうか。

A 廃棄物削減とリサイクルを推進しながら地域の活性化にも繋がることから、他市町の先行事例等を調査研究しながら、取り組んでいく。

地域での消火器設置推進について

他の質問：水道事業の持続可能性について



持続可能性に係るSDGs目標



小さな町から世界に貢献

Q 本町では、従来から、景観や住環境の観点から、緑の保全を位置付けている。脱炭素の観点からも田畑緑の保全や、緑化の促進に取り組んではどうか。

A 都市緑化保全を進めることは、二酸化炭素の吸収量を増やす効果が見込まれ、脱炭素のまちづくりにつながるため、引き続き自然環境の保全に取り組んでいきたい。

Q 脱炭素のまちづくりに、住民が参加できる一つの方法として、各家庭の庭に緑をふやしてもらう仕組み、補助制度などをつくってはどうか。

A 各個人の住居であり、町広報等での啓発により、緑化に協力いただくことと考える。

Q 住民参加による脱炭素のまちづくりの方法についての現時点での考えは。

A 「地球温暖化対策実行計画」を策定する過程で、住民目線での意見を聞くワークショップを行う。

脱炭素にむけた住民参加の方法は

町：昨年度に続きワークショップを行う

他の質問：新型コロナウイルス感染症に対応する医療体制など

あさ こ なお み
朝子直美 議員

町：危険箇所を抽出し対応策の検討を行う

いのうえはる お
井上治夫 議員

Q 児童の登下校中の交通事故が社会問題となっている。二山小学校区にも、町道1号線などに危険箇所があり、二交通指導員を配置してほしいという声を聞いている。見守り隊のようなボランティアに頼るだけでなく、登下校時に交通指導員を新たに配置する考えはあるか。

A 現在、大山崎町の4カ所で交通指導員が通学指導をしている。児童生徒の登下校の安全確保は、子どもたちの安全な学校生活の一環と位置付けている。通学路等の安全推進会議を開催して、危険箇所を抽出し、対応策の検討を行う。

Q 二山小学校区には、交通指導員が配置されていない。車の通行量が増えており、円明寺団地内を通り抜ける車も多い。交通指導員の今後の配置計画を問う。

A 町全体を見て、交通指導員の配置を検討していきたい。



見通しが悪い交差点

児童の登下校の安全さらに充実を

他の質問：将来のまちづくり、うぐいす号の活用についてなど



工事中の第二山崎小学校

Q 老朽化した大山崎小学校、第二山崎小学校の校舎について各々から改善要望が上がっているのか。

A 毎年予算査定時にヒアリングを行い、書面提出を受け、経費や必要性・優先度を聴き内容の把握に務めている。

Q 情報公開請求を取ったが、大山崎小学校における外壁の崩落については記載が無いが何故か。どうして重大な事を議会に報告しないのか。

A 学校から文書による要望はなかったが、修理している。

Q 第二山崎小学校の改修工事で契約時点と比較してコンクリートのひび割れ箇所が150%増えているが何故か。更には鉄筋とコンクリートのかぶり厚の不足が確認されている。これが爆裂の原因である。建物は大丈夫なのか。

A 設計会社を確認をする。建物は大丈夫と考えている。

小学校校舎の安全について

町：安心安全を優先する

他の質問：アフターコロナ・ウィズコロナにおける財政について

きたむらよしふみ
北村吉史 議員

町：水道料金の値下げは困難である

しま かずよし
島 一嘉 議員

Q 令和2年度の水道事業の収益は黒字である。その要因と今後の見通しは。

A 平成28年度以来4年ぶりの純利益である。一般家庭の使用水量が増加、京都府営水道の料金改定による受水費の減額が要因である。次年度以後は施設や管路の更新整備に費用がかかり経営状況は厳しい。

Q 今後の施設整備として、町の地下水と府営水道のブレンド率を見直す考えは。

A 「上下水道事業経営のあり方」の答申を受けて、現状のブレンド率で運用する。

Q 浄水場廃止の方が15億円から23億円の経費節減の試算である。それでもブレンドを続けるのか。施設整備を含めて黒字になれば水道料金を値下げするか。

A 災害時のリスクと府営水の単価をみて慎重に判断する。水源の二元化は必要と考えるが黒字化に進めたい。



昭和49年築の夏目新第二浄水場

水道料金の黒字なら引き下げは

他の質問：ゴミの出し方、町の脱炭素宣言について



Q 公民館は住民に自主的活動の場を提供する事も重要な機能だ。

A 公民館建替えに当り構想中の新施設は、従来の公民館機能の引継ぎ・住民が会議等使えるスペースの確保等と、新しいニーズ・居場所の提供とをバランスを取ったものにすべきだと考える。また構想の決定は広く住民の意見を聴いた上で行うべきと考えるがどうか。

A 新しい施設は複合施設を考えている。

従来の公民館機能にこだわらず、他の機能との相乗効果がでるような新施設を envisaging している。

住民も参加したワークショップで得られた意見は十分に反映する。

なお、新施設は複合化する諸施設の延床面積より縮小するが活動規模に合わせた空間を提供するよう整備していきたいと考えている。

公民館構想決定は住民参加で

町：新施設は公民館機能に固執しない

他の質問：「(仮称)ほっこりベンチ」設置の計画的事業化について

しふ や す す む
渋谷 進 議員

季刊議会

令和3年度の一般会計補正予算

9月の定例会以降、緊急的に必要となった事業の予算を増額しました。

- ・「大山崎町公共施設等総合管理計画」の見直し業務 374万円
- ・選挙の開票に使用する投票用紙の分類機の購入 253万円

第二大山崎小学校外壁等改修工事の変更請負契約

この工事は、令和3年7月に着工しました。

改修作業が進む中、普通教室棟や管理棟、屋内運動場において、新たに把握したクラックや欠損箇所が相当量であったことから、追加工事が必要となったものです。

議会からは、予算執行にかかる適切な手続きや議会への迅速な状況報告を行うべきなどの厳しい指摘をし、今後の改善を求めました。



改修工事中の第二大山崎小学校

10月25日に

令和3年第1回 **臨時会** を開催

町長から提出された2つの議案の審議を行いました。

いずれの議案も全員賛成により、可決されました。

臨時会とは

- 定例会は年4回の開催と決まっています。
- 臨時会は緊急的な事情などにより、次の定例会まで待つことのできないとき、特定の案件のために開催できます。
- 必要があれば何回でも開催できます。

12月 議会日程

令和3年第4回定例会日程

日程詳細



開会	11/25(木) 10:00
広報常任委員会	12/1(水) 10:00
議会改革特別委員会	12/1(水) 13:30
一般質問	12/6(月)～12/8(水) 10:00
総務産業常任委員会	12/9(木) 13:30
建設上下水道文教厚生常任委員会	12/10(金) 13:30
予算決算常任委員会	12/13(月) 10:00
閉会	12/17(金) 10:00

— 請願・陳情の提出期限 —

定例会開会日の翌日 17:00

提出の方法



発行 大山崎町議会

編集 広報常任委員会

辻真理子委員長 島一嘉副委員長
嘉久志満 波多野庇砂